

静岡県における結果の概要

1 出生数は減少

出生数は22,497人で、前年の23,457人より960人減少し、出生率（人口千対）は6.4で、前年の6.6を下回った。

また、合計特殊出生率は1.39で前年の1.44を下回った。

2 死亡数は増加

死亡数は42,191人で、前年の42,190人より1人増加し、死亡率（人口千対）は11.9で、前年と同値であった。

死因順位は、第1位が悪性新生物＜腫瘍＞（死亡数10,960人、死亡率（人口10万対）309.5）、第2位が心疾患（5,876人、165.9）、第3位が老衰（5,782人、163.3）となっている。

3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は△19,694人で、前年より減少幅が961人広がり、自然増加率（人口千対）は△5.6で、前年の△5.3を下回った。

4 乳児死亡数、新生児死亡数は減少

乳児死亡数は46人で、前年より9人減少し、乳児死亡率（出生千対）は2.0で、前年の2.3を下回った。

また、新生児死亡数は22人で、前年より11人減少し、新生児死亡率（出生千対）は1.0で、前年の1.4を下回った。

5 死産数は減少

死産数は393胎で、前年より97胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）では17.2で、前年の20.5を下回った。

6 婚姻件数は減少

婚姻件数は13,846組で、前年より2,002組減少し、婚姻率（人口千対）は3.9で、前年の4.5を下回った。

7 離婚件数は減少

離婚件数は5,474組で、前年より360組減少し、離婚率（人口千対）は1.55で、前年の1.64を下回った。

表1 人口動態総覧

	静岡県							全国			
	実数		率		全国順位		平均発生間隔 (366日想定)	実数		率	
	2年 (確定値)	令和元年 (確定値)	2年 (確定値)	令和元年 (確定値)	2年	令和元年		2年 (確定値)	令和元年 (確定値)	2年 (確定値)	令和元年 (確定値)
出生	22,497	23,457	6.4	6.6	28	28	23分26秒	840,835	865,239	6.8	7.0
男	11,509	12,101	6.6	6.9	…	…	45分48秒	430,713	443,430	7.2	7.4
女	10,988	11,356	6.1	6.3	…	…	47分58秒	410,122	421,809	6.5	6.6
死亡	42,191	42,190	11.9	11.9	28	30	12分30秒	1,372,755	1,381,093	11.1	11.2
男	21,839	21,642	12.5	12.3	…	…	24分8秒	706,834	707,421	11.8	11.7
女	20,352	20,548	11.3	11.4	…	…	25分54秒	665,921	673,672	10.5	10.6
乳児死亡	46	55	2.0	2.3	17	10	190時間57分23秒	1,512	1,654	1.8	1.9
新生児死亡	22	33	1.0	1.4	18	5	399時間16分22秒	704	755	0.8	0.9
自然増加	△ 19,694	△ 18,733	△ 5.6	△ 5.3	23	21	…	△ 531,920	△ 515,854	△ 4.3	△ 4.2
死産	393	490	17.2	20.5	45	31	22時間21分4秒	17,278	19,454	20.1	22.0
自然死産	194	254	8.5	10.6	40	21	45時間16分42秒	8,188	8,997	9.5	10.2
人工死産	199	236	8.7	9.9	34	34	44時間8分27秒	9,090	10,457	10.6	11.8
周産期死亡	79	88	3.5	3.7	19	16	111時間11分24秒	2,664	2,955	3.2	3.4
妊娠満22週以後の死産	61	67	2.7	2.8	…	…	144時間0分0秒	2,112	2,377	2.5	2.7
早期新生児死亡	18	21	0.8	0.9	…	…	488時間0分0秒	552	578	0.7	0.7
婚姻	13,846	15,848	3.9	4.5	23	19	38分4秒	525,507	599,007	4.3	4.8
離婚	5,474	5,834	1.55	1.64	22	25	1時間36分17秒	193,253	208,496	1.57	1.69
合計特殊出生率			1.39	1.44	30	28				1.33	1.36

(注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 全国順位は、率の高い方から数えた順位である。

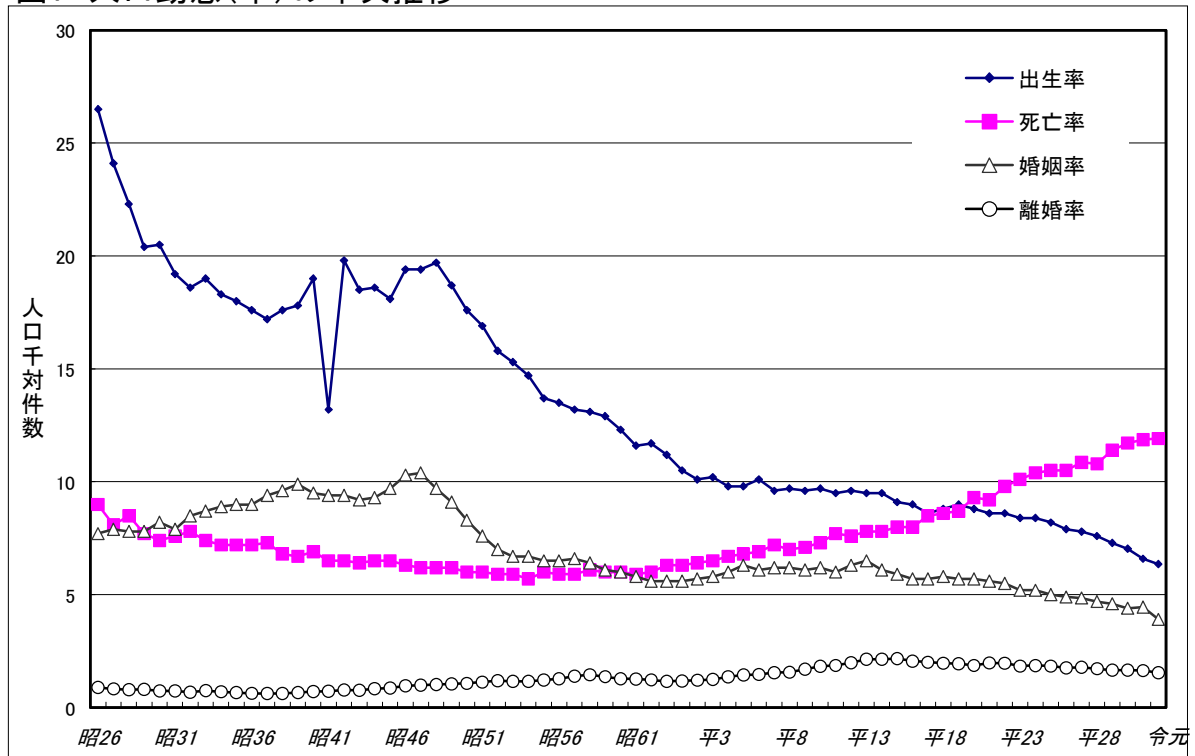
3 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の令和2年10月1日現在の日本人口

(静岡県… 3,540,934人、 全国… 123,398,962人)

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
平成2年	37,045	10.1	23,543	6.4	157	4.2	86	2.3	1,464	38.0	20,700	5.7	4,432	1.21
7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
18	32,905	8.8	32,001	8.6	87	2.6	43	1.3	840	24.9	21,663	5.8	7,281	1.96
19	33,274	9.0	32,507	8.7	81	2.4	48	1.4	750	22.0	21,150	5.7	7,208	1.94
20	32,701	8.8	34,511	9.3	80	2.4	46	1.4	789	23.6	21,193	5.7	6,959	1.87
21	31,901	8.6	34,209	9.2	65	2.0	30	0.9	731	22.4	20,716	5.6	7,352	1.98
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96
23	31,172	8.4	37,303	10.1	70	2.2	30	1.0	719	22.5	19,093	5.2	6,804	1.84
24	30,810	8.4	38,194	10.4	58	1.9	28	0.9	647	20.6	19,323	5.2	6,878	1.87
25	30,260	8.2	38,393	10.5	64	2.1	32	1.1	646	20.9	18,463	5.0	6,732	1.84
26	28,684	7.9	38,342	10.5	61	2.1	29	1.0	629	21.5	18,066	4.9	6,439	1.76
27	28,352	7.8	39,518	10.9	53	1.9	25	0.9	539	18.7	17,666	4.9	6,504	1.79
28	27,652	7.6	39,294	10.8	46	1.7	23	0.8	538	19.1	17,079	4.7	6,237	1.72
29	26,261	7.3	41,078	11.4	47	1.8	13	0.5	477	17.8	16,573	4.6	5,983	1.66
30	25,192	7.0	41,972	11.7	50	2.0	30	1.2	470	18.3	15,768	4.4	5,923	1.65
令和元年	23,457	6.6	42,190	11.9	55	2.3	33	1.4	490	20.5	15,848	4.5	5,834	1.64
2	22,497	6.4	42,191	11.9	46	2.0	22	1.0	393	17.2	13,846	3.9	5,474	1.55

図1 人口動態(率)の年次推移



1 出生

(1) 出生数・出生率

令和2年の出生数は22,497人で、前年の23,457人より960人減少した。

昭和46～49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成26年は3万人を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、30～34歳が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。いずれの年齢階級でも出生数は前年より減少した。35歳以上の母親からの出生は全体の27.0%である。

出生率（人口千対）は6.4で、前年の6.6を下回った。

表3 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数の年次推移

	出生数				対前年増減		割合	
	令和2年	令和元年	平成30年	22年	2年-元年	元年-30年	2年	22年
総数	22,497	23,457	25,192	31,896	△ 960	△ 1,735	100.0	100.0
～19歳	196	226	214	424	△ 30	12	0.9	1.3
20～24	1,798	1,947	2,071	3,313	△ 149	△ 124	8.0	10.4
25～29	6,186	6,269	6,808	9,655	△ 83	△ 539	27.5	30.3
30～34	8,241	8,659	9,408	11,447	△ 418	△ 749	36.6	35.9
35～39	4,893	5,116	5,391	6,162	△ 223	△ 275	21.7	19.3
40歳以上	1,183	1,240	1,300	895	△ 57	△ 60	5.3	2.8

(注) 総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 合計特殊出生率

令和2年の合計特殊出生率は1.39で、前年の1.44を下回った。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていた。平成15年以降しばらく上昇傾向にあったが、平成28年以降は低下が続いている。

表4 合計特殊出生率の年次推移

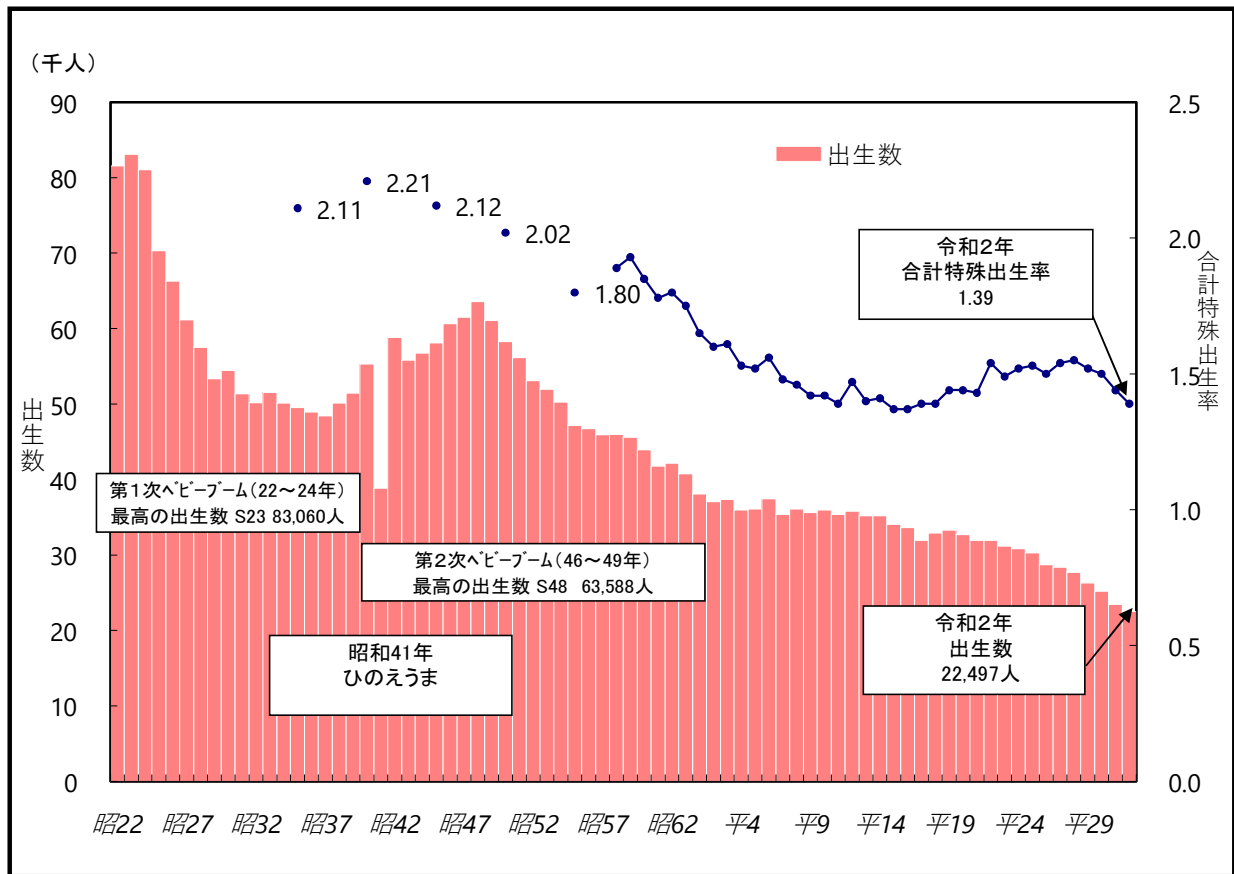
	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.39
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26

22年	23年※	24年※	25年※	26年※	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
1.54	1.49	1.52	1.53	1.50	1.54	1.55	1.52	1.50	1.44	1.39
1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33

<参考>

平成26年までの非国勢調査年の都道府県別の合計特殊出生率は、外国人を含む年齢別の女性人口を分母として算出しているため、日本人のみを分母とする年齢別の女性人口を分母とする国勢調査年の値に比べて低い値となる傾向がある。

図2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移



2 死亡

(1) 死亡数・死亡率

令和2年の死亡数は42,191人で、前年の42,190人より1人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成17年は3万人を、平成29年には4万人を超えた。

令和2年の死亡率（人口千対）は11.9で、前年と同値であった。

昭和22年に13.0であった死亡率は、その後次第に低下し、昭和54年には戦後最低の5.7となった。その後は、昭和60年代からほぼ一貫して上昇を続け、平成15年に8.0を、平成20年には9.0を超え、平成23年には10.0を、平成29年には11.0を超えた。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静岡県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8
35	19,935	7.2	706,599	7.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1
45	20,302	6.5	712,962	6.9
50	19,788	6.0	702,275	6.3
55	20,550	6.0	722,801	6.2
60	21,415	6.0	752,283	6.3
平成2年	23,543	6.4	820,305	6.7
7	26,666	7.2	922,139	7.4
12	28,323	7.6	961,653	7.7
17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
19	32,507	8.7	1,108,280	8.8
20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
22	36,420	9.8	1,197,012	9.5
23	37,303	10.1	1,253,066	9.9
24	38,194	10.4	1,256,359	10.0
25	38,393	10.5	1,268,436	10.1
26	38,342	10.5	1,273,004	10.1
27	39,518	10.9	1,290,444	10.3
28	39,294	10.8	1,307,748	10.5
29	41,078	11.4	1,340,397	10.8
30	41,972	11.7	1,362,470	11.0
令和元年	42,190	11.9	1,381,093	11.2
2	42,191	11.9	1,372,755	11.1

表6 年齢(5歳階級)別にみた、死亡数・死亡率(人口10万対)

	死 亡 数			死 亡 率		
	令和2年	令和元年	対前年増減	令和2年	令和元年	対前年増減
総 数	42,191	42,190	1	1,191.5	1,186.1	5.4
0～4歳	57	81	△ 24	46.0	62.3	△ 16.3
5～9	15	11	4	10.3	7.4	2.9
10～14	17	11	6	10.7	6.9	3.8
15～19	31	45	△ 14	19.4	26.8	△ 7.4
20～24	65	48	17	45.5	33.6	11.9
25～29	63	64	△ 1	41.2	44.4	△ 3.2
30～34	87	90	△ 3	50.0	50.8	△ 0.8
35～39	133	125	8	66.8	61.9	4.9
40～44	218	240	△ 22	95.2	100.8	△ 5.6
45～49	401	381	20	146.9	139.6	7.3
50～54	536	493	43	219.7	204.6	15.1
55～59	768	768	0	338.3	345.9	△ 7.6
60～64	1,189	1,236	△ 47	535.6	546.9	△ 11.3
65～69	2,195	2,294	△ 99	885.1	872.2	12.9
70～74	3,774	3,598	176	1,367.4	1,373.3	△ 5.9
75～79	5,035	5,109	△ 74	2,331.0	2,301.4	29.6
80～84	6,685	6,757	△ 72	4,076.2	4,223.1	△ 146.9
85歳以上	20,922	20,839	83	11,309.2	11,641.9	△ 332.7

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死 因

令和2年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物<腫瘍>で10,960人、死亡率(人口10万対)309.5、第2位は心疾患で5,876人、死亡率165.9、第3位は老衰で5,782人、死亡率163.3となった。

全死亡者に占める割合は、それぞれ26.0%、13.9%、13.7%であり、死亡の3.8人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

表7 主な死因別死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位

死 因	静 岡 県						全 国			
	令和2年			令和元年			令和2年		令和元年	
	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数	死亡率 (人口10万対)
全 死 因	42,191	1,191.5	100.0	42,190	1,186.1	100.0	1,372,755	1,112.5	1,381,093	1116.2
悪性新生物 <腫瘍>	(1) 10,960	309.5	26.0	(1) 10,880	305.9	25.8	(1) 378,385	306.6	(1) 376,425	304.2
心 疾 患	(2) 5,876	165.9	13.9	(2) 5,939	167.0	14.1	(2) 205,596	166.6	(2) 207,714	167.9
老 衰	(3) 5,782	163.3	13.7	(3) 5,382	151.3	12.8	(3) 132,440	107.3	(3) 121,863	98.5
脳血管疾患	(4) 3,679	103.9	8.7	(4) 3,751	105.5	8.9	(4) 102,978	83.5	(4) 106,552	86.1
肺 炎	(5) 1,992	56.3	4.7	(5) 2,407	67.7	5.7	(5) 78,450	63.6	(5) 95,518	77.2
誤嚥性肺炎	(6) 1,258	35.5	3.0	(6) 1,332	37.4	3.2	(6) 42,746	34.6	(6) 40,385	32.6
不慮の事故	(7) 1,214	34.3	2.9	(7) 1,170	32.9	2.8	(7) 38,133	30.9	(7) 39,184	31.7
腎 不 全	(8) 818	23.1	1.9	(8) 831	23.4	2.0	(8) 26,948	21.8	(8) 26,644	21.5
血管性及び詳細 不明の認知症	(9) 670	18.9	1.6	(9) 733	20.6	1.7	(10) 20,815	16.9	(9) 21,394	17.3
大動脈瘤及び 解離	(10) 651	18.4	1.5	(11) 596	16.8	1.4	(13) 18,795	15.2	(13) 18,830	15.2

(注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。「誤嚥性肺炎」「間質性肺疾患」は平成29年から追加された。

表8 性別にみた死因順位別、死亡数・死亡率(人口10万対)

(令和2年)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男	死 因	悪性新生物<腫瘍>	心疾患	脳血管疾患	老 衰	肺 炎
	死亡数	6,437	2,943	1,915	1,720	1,179
	死亡率	368.7	168.6	109.7	98.5	67.5
女	死 因	悪性新生物<腫瘍>	老 衰	心疾患	脳血管疾患	肺 炎
	死亡数	4,523	4,062	2,933	1,764	813
	死亡率	252.0	226.3	163.4	98.3	45.3

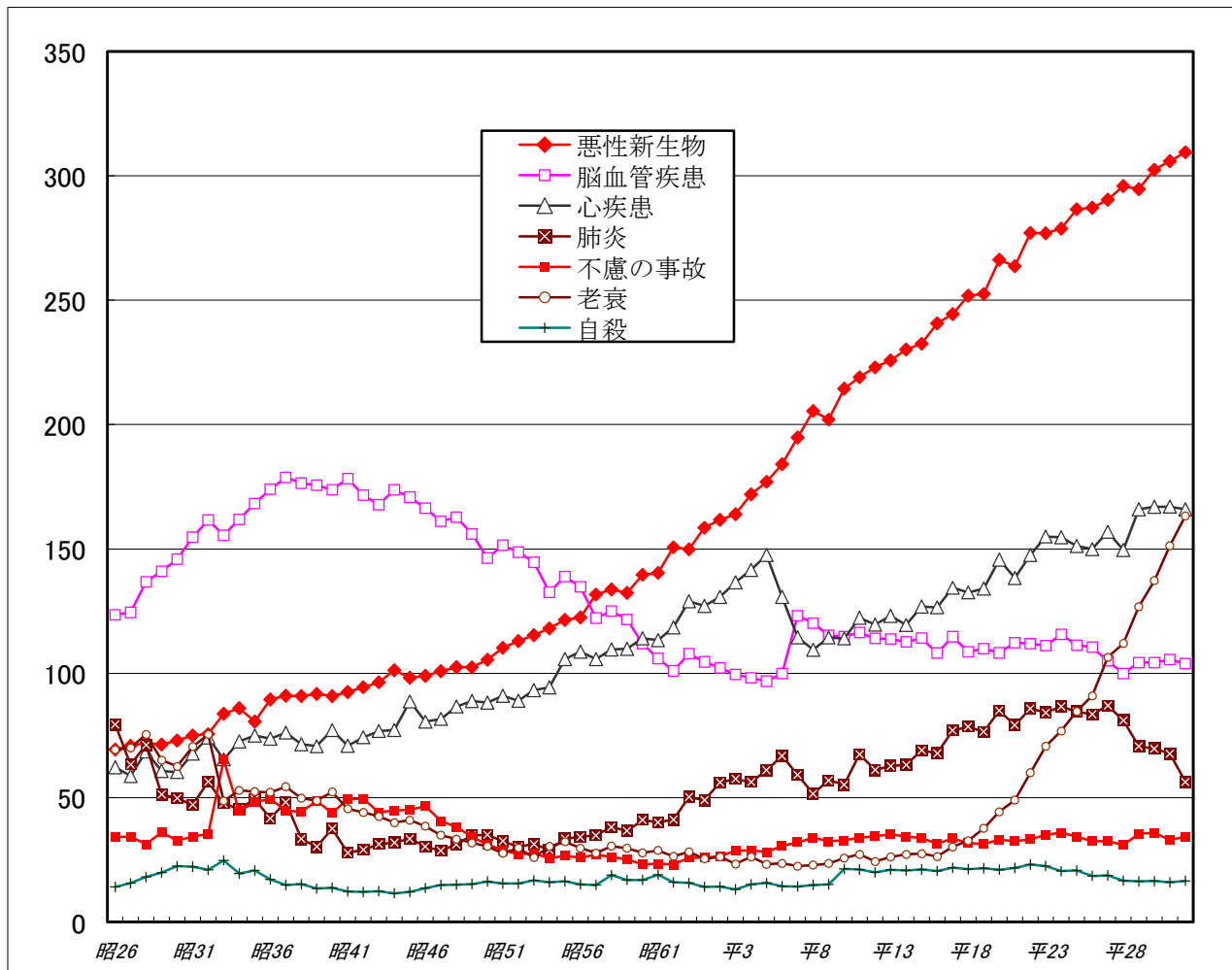
		第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
男	死 因	誤嚥性肺炎	不慮の事故	腎不全	慢性閉塞性肺疾患	自殺
	死亡数	762	701	470	451	403
	死亡率	43.6	40.2	26.9	25.8	23.1
女	死 因	不慮の事故	誤嚥性肺炎	血管性及び 詳細不明の認知症	腎不全	アルツハイマー病
	死亡数	513	496	426	348	321
	死亡率	28.6	27.6	23.7	19.4	17.9

(注) 死亡率は人口10万対

死亡率の年次推移をみると、悪性新生物は、ほぼ一貫して上昇傾向にあり、昭和57年以降死因順位の第1位となっている。

本県の3大死因の死亡率の全国順位は、高い方から数えて悪性新生物が33位、心疾患が37位、老衰が4位となっている。

図2 主な死因別の死亡率の年次推移



(注) 「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

悪性新生物について死亡数を部位別にみると、男は「肺」が1,484人で最も多く、以下「大腸」が811人、「胃」が771人、「膵」が567人、「肝」が478人の順である。

女は「大腸」が727人で最も多く、以下「肺」が585人、「膵」が575人、「乳房」が408人、「胃」が378人の順となっている。

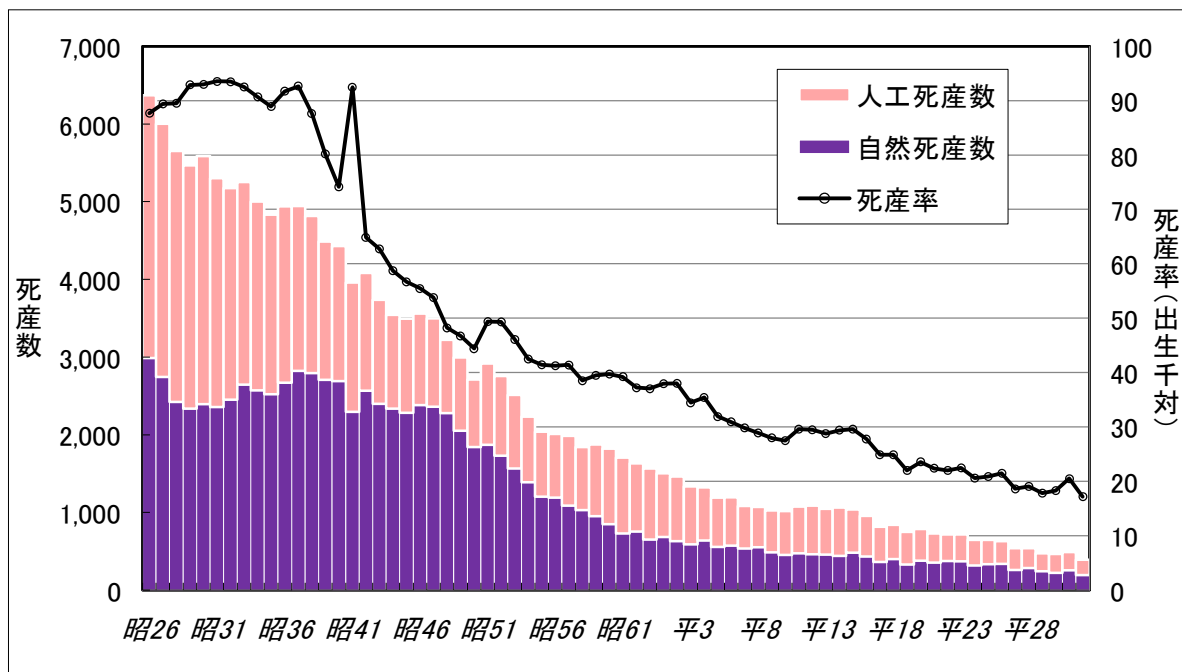
(注) 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

3 死産

令和2年の死産（妊娠満12週以後の死児の出産）数は393胎で、前年の490胎より97胎減少し、死産率（出産（出産＋死産）千対）は17.2で前年の20.5を下回った。

死産率の年度推移をみると、昭和37年までは概ね90前後で推移していたが、昭和38年からは昭和41年のひのえうまの影響を除き、急激に低下し、50年には44.4となった。その後は、おおむね低下傾向となっている。

図3 死産数及び死産率の年次推移



4 婚姻・離婚

(1) 婚姻

令和2年の婚姻件数は13,846組で、前年の15,848組より2,002組減少し、婚姻率（人口千対）は3.9で、前年の4.5を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には、婚姻件数は3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年まで婚姻率は6.0以上であったが、平成26年以降5.0を下回っている。

平均初婚年齢は、夫30.8歳、妻29.1歳で、共に前年を下回った。

表9 婚姻の年次推移

	婚 姻			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0
50	27,541	8.3	941,628	8.5
55	22,460	6.5	774,702	6.7
60	21,501	6.0	735,850	6.1
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9
7	22,991	6.2	791,888	6.4
12	23,550	6.3	798,138	6.4
17	21,056	5.7	714,265	5.7
22	20,323	5.5	700,214	5.5
23	19,093	5.2	661,899	5.2
24	19,323	5.2	668,869	5.3
25	18,463	5.0	660,613	5.3
26	18,066	4.9	643,749	5.1
27	17,666	4.9	635,156	5.1
28	17,079	4.7	620,531	5.0
29	16,573	4.6	606,866	4.9
30	15,768	4.4	586,481	4.7
令和元年	15,848	4.5	599,007	4.8
2	13,846	3.9	525,507	4.3

(注) 婚姻率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	静 岡 県			全 国		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2	2.7
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
7	28.6	26.2	2.4	28.5	26.3	2.2
12	28.7	26.8	1.9	28.8	27.0	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7
23	30.5	28.6	1.9	30.7	29.0	1.7
24	30.7	28.8	1.9	30.8	29.2	1.6
25	30.8	29.0	1.8	30.9	29.3	1.6
26	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7
27	31.0	29.2	1.8	31.1	29.4	1.7
28	31.1	29.2	1.9	31.1	29.4	1.7
29	31.1	29.1	2.0	31.1	29.4	1.7
30	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7
令和元年	31.1	29.3	1.8	31.2	29.6	1.6
2	30.8	29.1	1.7	31.0	29.4	1.6

(注) 各届出年に結婚生活に入ったもの

(2) 離 婚

令和2年の離婚件数は5,474組で、前年の5,834組より360組減少し、離婚率（人口千対）は1.55で、前年の1.64を下回った。

離婚件数は、昭和37年以降毎年増加したが、昭和58年の5,075組をピークに減少した後、平成元年以降は再度増加を続け、平成15年に8千組を超えた。平成16年以降、減少傾向が続いている。

表11 離婚の年次推移

	離 婚			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	2,701	0.87	95,937	0.93
50	3,536	1.07	119,135	1.07
55	4,202	1.22	141,689	1.22
60	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	4,432	1.21	157,608	1.28
7	5,723	1.55	199,016	1.60
12	7,380	1.99	264,246	2.10
17	7,474	2.01	261,917	2.08
22	7,241	1.96	251,378	1.99
23	6,805	1.84	235,734	1.87
24	6,878	1.87	235,406	1.87
25	6,732	1.84	231,383	1.84
26	6,439	1.76	222,107	1.77
27	6,504	1.79	226,215	1.81
28	6,237	1.72	216,798	1.73
29	5,983	1.66	212,262	1.70
30	5,923	1.65	208,333	1.68
令和元年	5,834	1.64	208,496	1.69
2	5,474	1.55	193,253	1.57

(注) 離婚率は人口千対